令和元年度「熊本の土木工事現場見学会」バスツアー

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和元年12月3日

１　開催趣旨

立野ダム建設工事、熊本地震で被災した阿蘇大橋地区（国道325号阿蘇大橋、斜面崩壊箇所）及び国道57号北側復旧ルート（阿蘇側）建設工事、大切畑ダム復旧工事、熊本高森線（俵山ルート）の復旧状況を見学して、次世代を担う小学生から大学生までの若者に土木工事の重要性をより深く理解してもらう。　　　　　　　　　　　　【土木学会土木の日関連、熊本県土木の日実行委員会行事の一環】

２　主催　熊本県技術士会　土木の日実行委員会

国土交通省　熊本河川国道事務所、立野ダム工事事務所、熊本復興事務所

３　開催日時

令和元年11月17日（日曜日）熊本県庁正門プロムナード時計台前　9時集合、16時30分解散

４　現場見学箇所

①大切畑ダム復旧工事 ～ ②熊本高森線（俵山ルート）～ 道の駅「あそ望の郷くぎの」で昼食 ～

③立野ダム建設工事 ～ ④阿蘇大橋地区工事（国道325号阿蘇大橋、阿蘇大橋地区斜面崩壊）～

⑤国道57号北側復旧ルート（阿蘇側）建設工事現場を見学

５　参加者　応募定員60名に対し58名申込み、　当日参加者50名、スタッフ10名　計60名

熊本県内在住の小学生（保護者同伴）、高校生　　　　 （子供24名、大人26名）

６　参加費　無料（バス借上費、障害保険費、資料代）、但し昼食は参加者負担

７　開催結果

　（１）小学生26名、高校生1名、の参加があり、開催の目的は達成できた。

　（２）見学箇所が工事中のため、ヘルメットを着用しかつ安全確保を行った上での説明ができた。

　（３）立野ダム工事・阿蘇大橋地区工事・国道57号北側復旧ルート建設工事、大切畑ダム工事の現場で、国土交通省の担当官及び熊本県の担当者から色々と工夫された分かり易い説明があった。

　（４）立野ダム工事では工事個所から採取されたドングリの種から育苗された幼木のポット植付け体

験を行った。また、国道57号北側復旧ルート建設工事では、ドローン飛行・モニター見学、建設機械搭乗・操作体験、高所作業車搭乗体験ができ、印象に残る実体験型の現場見学であった。

（５）昼食は道の駅「あそ望の郷くぎの」を利用し、天候にも恵まれ雄大な景色の中で食事ができた。

